



令和7年4月8日
富士宮市立貴船小学校
学校だより 第1号
児童数 495人

ご入学、ご進学、おめでとうございます。令和7年度がスタートしました。新しい学年、新しい学級、新しい友達、新しい先生との出会いに期待に胸を膨らませて、こどもたちが4月8日登校しました。新しい環境の中で、自分の力を伸ばしていこうとしているこどもたちを家庭・地域・学校が一つになって支え、応援していきたいと思えます。今年度も、お力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

貴船小学校では、学校教育目標、育成を目指す資質・能力を以下のように掲げ、今年度の教育活動を進めていきます。

【学校教育目標】 共に 未来を創る子

「共に 未来を創る子」とは、「なりたい自分」「よりよくしたい環境」「大切にしたい地域」などの「未来」の実現に向けて、主体的に考え、「人・もの・こと」にかかわり、行動を起こしていくこどもの姿を描いています。

「未来」とは、こどもと合意の上でつくる一日の計画や単元のゴール、学期ごとのめあて、学校行事で目指す姿などの近い未来から、自分たちのアイデアでよりよく環境を変えていく「学級の目標」や「きぶねっ子目標（委員会の目標）」の達成を目指す1年後の未来、自分たちが担う貴船のまちづくりなどの遠い未来まで広く捉えています。

こどもたちが、今現在から未来にわたって、自分と自分のまわりの社会の幸せや豊かさを求めて行動する姿を思い描き、学校教育目標を「共に 未来を創る子」としました。

この学校教育目標の実現に向けて、今年度以下の3つの資質・能力の育成を目指していきます。

めあてに向かって調整し 実践する力（主体性）

こどもたちには、「めあて（なりたい自分・目指す姿）」をもち、その達成に向けての見通しを立て、試行錯誤し、調整を図ったり、粘り強く取り組んだりする主体的に取り組む力を伸ばしてほしいと願い、この力を設定しました。

他と関わり 新しい考えを創り出す力（協働性）

「他」とは、「人・こと・もの」とし、友達や教師、地域の方、資料、体験等を含んでいます。他と関わる上で大切なのは、学習者となるこども自身が自立していることです。「分からない」「知りたい」ことがはっきりしていれば、相手に聞く、本や情報機器を使って調べる、実物を見る、体験するなど、「聞いてみたい」「試してみたい」という興味・関心が生まれ、他との関わりを求めることは、自然な流れです。こどもたちが関わりをもちたいと思えるような授業や環境を教師が整えることで、こどもたちが個として自立し、他と関わり、協働して新しい考えを創り出してほしいと願い、この力を設定しました。

多様性を認め合い 協調する力（協調性）

学校内、教室には、価値観や経験の違いから感じ方や考え方の違いが多く存在しています。こどもたちには、学級での活動、異学年での活動で生まれるこれらの違いをうまく調整する力を育ててほしいと願います。これらの違いを「そういうこともある」「そういうときもある」「そういう考え方もできる」と受け入れ、「だから、どうしていく」と、こども自らがよりよく生活し、学習していけるように、豊かで温かな関わり方をする心情を育みたいと願い、この力を設定しました。



貴船小学校が、こどもたちのこれらの力を伸ばす場所になるよう、学校と家庭、地域で、共にこどもたちを育てていきたいと思っています。今年度も「学校と家庭をつなぐ会」を計画しています。どうぞご参加ください。1年間よろしくよろしくお願いいたします。

校長 岩垣 俊哉